



特集2

総合的な
環境共生のまちづくり

八王子 みなみ野シティ の取り組み

八王子みなみ野シティは、
東京都心の西方40km、八王子市南部に位置する約400haのニュータウンです。
「アーバンビレッジ」をコンセプトに、
様々な環境共生とコミュニティ育成の取り組みを実施し、
平成20年3月に事業完了を迎えました。

八王子みなみ野シティの取り組み

アーバンビレッジ

高度な都市性と里山を基調としたリゾート性を、共に享受できる、ゆとりある暮らしが息づく自立都市。

環境共生都市

環境にやさしいまちづくりをめざし、多様な取り組みを実施しました。

クラブライフ交流都市

人々が趣味や地域に根ざした交流を自由に行うことができる「クラブライフ交流都市」を提案しています。



緑の保全整備

環境共生都市

① 地形を活かした造成と高い公園緑地率

開発前の地形を活かした造成を行い、尾根部分を緑地として保全しました。公園緑地は地区面積の21%にあたる83haを確保しました。

② 樹木移植・根株移植

現況のヤマツツジ等の優良景観樹木など約800本を公園緑地内に移植しました。

また、根株移植という復元緑化工法を用い、開発地区内に自生していた樹木を活かし、地域の風土に合った樹林の再生に取り組みました。エゴノキ、ヤマザクラ等約240本を移植しました。

③ 貴重植物の保全

タマノカンアオイ他21種の貴重な植物は極力緑地内に現況保全し、現況保全できないものは地区内の生育環境の似た場所に移植しました。



ホタルの生息環境の整備

環境共生都市

地区内に自生していたゲンジ・ヘイケボタル約500個体を採集し、人工飼育を行いました。宇津貫緑地にホタル生息地を復元した後、人工飼育した幼虫を平成6年から平成14年まで毎年2,000個体前後、ホタルの餌であるカワニナとともに放流しました。その後もホタル生息環境の管理を行い、現在では毎年夏に自生したホタルが見られます。



自然エネルギーの利用

環境共生都市

せせらぎの水を循環させるポンプに太陽光発電を採用しました。



水循環再生システム

環境共生都市

① 貯留浸透施設の設置

公園や校庭など広い敷地の地下には砕石空隙貯留施設を、各敷地には浸透マスや、浸透トレンチを設置しました。また、歩道等に透水性舗装を取り入れました。

② 帯水層の復元

地下水脈が不連続になった部分には、難透水性の盛土をし、その上部に透水性の盛土をすることで、人工的に地下水脈を復元しました。

③ システム導入の効果

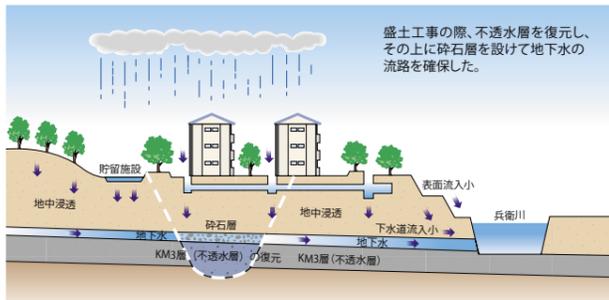
システムがない場合と比較し、兵衛川のピーク流量が2~4割(最大50m³/s)減少し、渇水時流量は1.5~2倍となる調査結果(平成18年)が得られています。



砕石空隙貯留施設



左・上) 八王子みなみ野シティ 水循環再生システム



盛土工事の際、不透水層を復元し、その上に砕石層を設けて地下水の流路を確保した。

公園アドプト制度

クラブライフ交流都市

八王子市が条例で定めた、市民が主体となって市の支援を受けながら公園の維持管理活動を行う制度です。地区内10ヶ所の公園緑地では、この制度を活用して、清掃、除草、花壇づくり等の住民や町会が主体となった維持管理活動が行われています。



小川づくりワークショップ

クラブライフ交流都市

地区内小学校児童が、宇津貫緑地内の水路を対象に「生きものがすすめる小川づくり」のワークショップで小川づくりに取り組みました。



児童らは、自ら作成した小川の設計図をもとに、現地の水路に石や土を置き、草木を植え、生きものを放流して「生きものがすすめる小川」をつくりました。

みなみ野自然塾

クラブライフ交流都市

地域の風土や文化を継承している地元の方々をマイスター(講師)に招き、新たな住民を塾生として募り、稲作、畑作、里山の自然観察等の活動を行う「みなみ野自然塾」を立ち上げました。

枳谷戸公園の棚田では、伝統的な稲作や、稲作に関わる伝統行事の継承に取り組んでいます。段々畑では、季節の野菜やハーブを育てています。雑木林では下草刈り、植樹等の里山保全活動を行っています。

新旧住民の交流はコミュニティを育成し、地域の連帯感や愛着を育んでいます。

現在では住民が主体となって、この地域の豊かな自然や文化を守り、育て、次の世代につなげていく活動を継続しています。



クラブライフ交流都市

緑豊かな街並みの形成

地区計画の中で「柵、生垣または高さ1.2m以下のフェンス」と定めることにより、緑豊かで防災性に優れた美しい住環境を誘導しています。

八王子みなみ野シティまち育成連絡会議による地域一斉清掃活動

クラブライフ交流都市

町会、住民団体、企業、周辺学校による「八王子みなみ野シティまち育成連絡会議」は、会員相互の情報交換、地域への情報発信のほか、年数回行われる地域の地域一斉清掃活動への参加を呼びかけるなど、取り組みを進めています。

